



高崎市議会

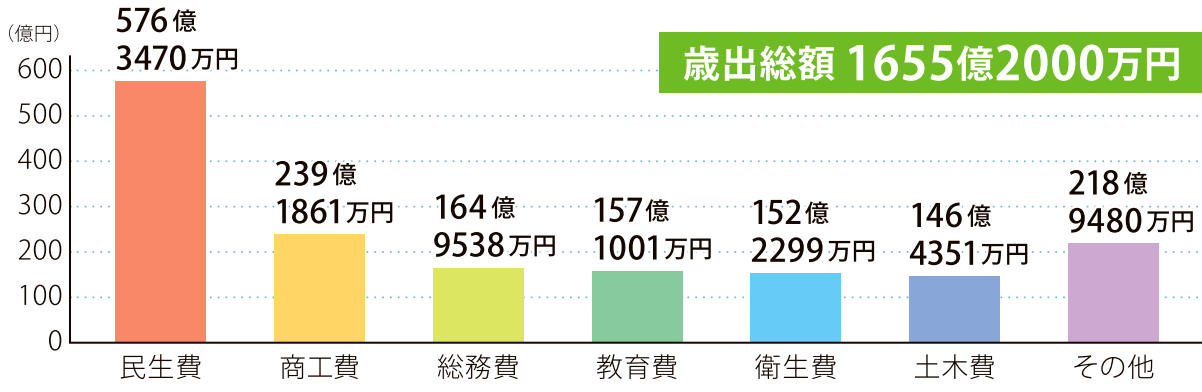
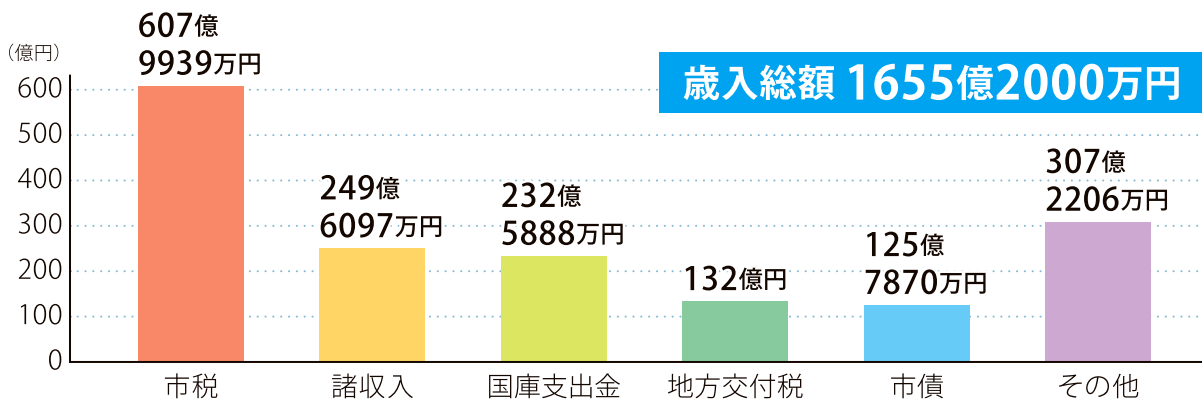


SHINPU KAIHO

令和2年春号

発行所 高崎市議会新風会広報局
発行責任 新風会広報局
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpuikai.com/

一般会計



人口: 37万3,114人 世帯数: 16万6,052世帯 (令和元年12月31日現在)

3月定例議会のご報告
令和2年度予算を可決

新風会からのごあいさつ

昨今の新型コロナウイルスにより、本市にも甚大な影響が出ています。子育て・教育関係機関、高齢者福祉施設、市内企業・店舗、医療機関、各種団体、そして各ご家庭において、大きな影響が出ている事をお察しいたします。本市としても、国の方針に従うだけでなく、本市独自の政策を打ち出すなど、奮闘している最中ではございますが、

一向に先が見えない状況に、苦しい思いを強いられています。一刻も早い新型コロナウイルスの収束に向けて、また本市の教育、福祉、経済の機能が正常に復旧する未来に向けて、市民のみなさまと共に、新風会一同全力で取り組んで参る所存でございます。引き続き、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

新年度の主な事業

高齢者等
ごみ出し支援事業
高崎市は本年度、安心して暮らせる生活環境を整えることを目的として、「高齢者ごみ出しSOS」をスタートします。高齢者世帯など、ごみ出しに困っている世帯を対象に、週一回自宅を訪問し無料でごみを収集します。利用には申請が必要で、申請は、一般廃棄物対策課又は各支所市民福祉課で受け付けます。全国でも例がなく妊娠期の子育て世帯も対象としています。また、ごみの排出がされていない利用者世帯等に対する、収集員が声がけ等の安否確認を行います。新風会としましては、子育て、高齢者世帯にも高崎市と共に様々な事業を通じて寄り添っていきたく考えております。

放課後児童
健全育成事業
放課後児童クラブを必要とする児童の増加に対応するため、施設を整備するとともに、支援員への処遇改善事業を継続して実施し、児童の健全育成環境の充実を図ります。放課後児童クラブへの支援については、毎年、継続的に会派要望を行っています。



学校トイレ洋式化
予算拡充
小・中学校のトイレ洋式化は、平成28年度から行っています。令和2年度については、3億円の予算(令和元年度の3倍)に拡充し、これまでの取り組みを一層強化し整備が行われます。各学校の洋式化率と児童生徒数を踏まえ、利用頻度の高いトイレを中心に児童生徒が安心して利用できるよう整備されます。また、学校体育館トイレについても洋式化を図り、災害時の避難所としての利便性を向上させるよう整備される予定です。これにより、令和2年度末には全体の約65%のトイレが洋式化になる見込みです。新風会ではトイレ洋式化を継続的に要望してきています。

児童相談所
設置調査事業
年々増加する児童虐待事案に対応するため、昨年10月に市役所本庁舎4階に子ども救済センターを新設し、職員を増員して児童虐待対応を強化してきました。今年度は救済センターの職員をさらに増員するとともに、職員を横須賀市と仙台市の各児童相談所に派遣し、職員の専門性の育成と情報収集等を図りながら、高崎市独自の児童相談所の設置に向けて検討していきます。会派では児童虐待防止についての要望や一般質問を精力的に行っています。

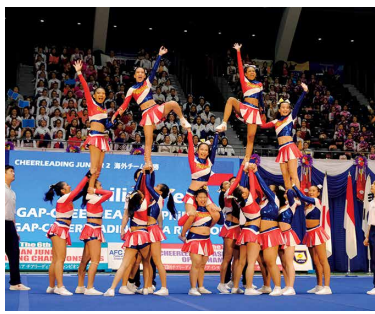


高崎市は本年度、安心して暮らせる生活環境を整えることを目的として、「高齢者ごみ出しSOS」をスタートします。高齢者世帯など、ごみ出しに困っている世帯を対象に、週一回自宅を訪問し無料でごみを収集します。利用には申請が必要で、申請は、一般廃棄物対策課又は各支所市民福祉課で受け付けます。全国でも例がなく妊娠期の子育て世帯も対象としています。また、ごみの排出がされていない利用者世帯等に対する、収集員が声がけ等の安否確認を行います。新風会としましては、子育て、高齢者世帯にも高崎市と共に様々な事業を通じて寄り添っていきたく考えております。

児童相談所
設置調査事業
年々増加する児童虐待事案に対応するため、昨年10月に市役所本庁舎4階に子ども救済センターを新設し、職員を増員して児童虐待対応を強化してきました。今年度は救済センターの職員をさらに増員するとともに、職員を横須賀市と仙台市の各児童相談所に派遣し、職員の専門性の育成と情報収集等を図りながら、高崎市独自の児童相談所の設置に向けて検討していきます。会派では児童虐待防止についての要望や一般質問を精力的に行っています。

国際スポーツ イベント等開催支援

本年度様々な国際スポーツイベント等が開催されます。チャリティーディング、新体操、ソフトボールなど、様々な大会が開催される中、初開催事業として、「NHK杯体操」が5月に高崎アリーナで、6月には昨年オープンした高崎市ソフトボール場UTSUGI STADIUMにおいて「UTSUGI CUP U-15世界女子ソフトボール大会in高崎」が、また令和2年度全国高校総体の新体操高崎開催等支



援してまいります。新風会と致しましてもこうしたスポーツを通しての国際交流が高崎のインバウンド促進に寄与していければと考えております。残念ながら新型コロナウイルスの影響で主なイベントが開催中止や延期となっております。

医療用ウィッグ等購入費補助事業 予算拡充

昨年4月1日より始まった「医療用ウィッグ等購入費補助金」は、当初の予定より多くの人の利用があり、令和2年度の予算を拡充し、継続して実施します。

ウィッグなどの補整具を利用することでがん治療等による外見変化をカバーし、療養生活の質の向上や、就労などの社会生活を支援する目的で実施しています。申請の内訳は、約85%がウィッグ、約15%が胸部補整具の申請です。



国立がん研究センター中央病院提供

総括質疑



石川 徹

石川徹議員が高崎市令和2年度の事業について総括質疑を行いました。

令和2年度当初予算について

徹底した事業費の削減／重点事業の積極的な推進／人件費の圧縮

教育と人づくりについて

トイレ洋式化予算3倍／中学校部活動指導員派遣事業、部活動指導員が現在55名／小学校でのプログラミング教育向け教員研修／高崎先端ICT教育協議会において大学や民間と共同

産業の振興について

「農TUBE high崎」で市内農業者の販路拡大への取り組み



防災対策に関する新規予算および拡充予算

昨年度、台風や大雨、局地的豪雨等によって大規模な浸水被害を受けた教訓から、本市は災害対策車を1台から3台に増強し、全ての指定避難所にコミュニケーションボードを設置することになりました。災害対策車は、浸水被害を受けた場所の排水作業ができる車で、コミュニケーションボードは、障がいのある方、外国人など、話し言葉によるコミュニケーションが困難な方に対して、分かりやすいイラストを指で指しながら意思疎通ができるツールです。これから激甚化する自然災害において、市民の皆様への安心、安全な生活の復旧のために、迅速かつ広範囲で対応できるようにいたします。

がん治療は身体的、精神的負担と合わせて経済的な負担も大きいものです。利用者からは「ウィッグが高額なのであきらめていたが、この補助事業があると聞いたのでウィッグを買おうと決め、気持ちも前向きになった」という声など、補助事業があつて良かったという声が多く寄せられています。

文化的な高崎について

春の高崎映画祭、秋の高崎音楽祭など市民主体イベントを開催。「ストリートライオン」高崎どこもかしこも「高崎マーチングフェスティバル」「アートプロジェクト高崎」の継続。「本因坊戦」第一局の旧井上房一郎邸での開催。「世界女子ソフトボール大会」を宇津木スタジアムで初開催。NHK杯体操をはじめ数多くの国際大会の誘致。高崎市民スポーツパーク(仮称)の整備。多胡碑記念館の無料化や上野三碑巡りバスの運行継続。上野三碑の保護と活用に取り組んでいる民間団体の引き続き支援。上野三碑からの普及

やさしい眼差しに満ちた市政について

保育所の新設と民間保育所の新設支援。既存保育所等への施設整備を積極支援。保育人材確保への取り組み。こども救済センターの新設。児童相談所設置に向けた取り組み。おとしよりぐるりんタタシの新設。産婦健康診査費用の助成、産後ケア事業の実施。がん患者の妊孕性(にんようせい)温存治療及び凍結保存の維持に要する費用の一部助成。小児難病対策事業で、重症患者の子どもたちが家族とともに外出するための費用の一部助成

合併した地域の個性を活かした魅力づくりについて

箕郷地域で養蚕住宅を観光客の休憩所として活用。新町防災体育館(仮称)令和2年の秋頃に着工。榛名湖アーティスティック・レジデンス6月以降オープン

安心・安全な地域社会づくりについて

錦川の氾濫防止対策として「無堤防地区の築堤」と「堤防の高上げ」を県に要望。避難所となる小・中学校の体育館トイレの洋式化と多目的トイレの導入。推進。高浜クリーンセンターの建て替えと、それに伴う隣接施設等の整備。「高齢者こみ出しSOS」の新設

大勢の人が歩き、賑わう街について

海外の旅行プログラマーや著名人などによる高崎の魅力発信。豊岡新駅(仮称)設置に向け協議開始。豊岡経大橋(仮称)新設に向け、現地調査、群馬県との協議。高崎駅東口における3つの再開発事業の進捗

族とともに外出するための費用の一部助成

合併した地域の個性を活かした魅力づくりについて

箕郷地域で養蚕住宅を観光客の休憩所として活用。新町防災体育館(仮称)令和2年の秋頃に着工。榛名湖アーティスティック・レジデンス6月以降オープン

安心・安全な地域社会づくりについて

錦川の氾濫防止対策として「無堤防地区の築堤」と「堤防の高上げ」を県に要望。避難所となる小・中学校の体育館トイレの洋式化と多目的トイレの導入。推進。高浜クリーンセンターの建て替えと、それに伴う隣接施設等の整備。「高齢者こみ出しSOS」の新設

大勢の人が歩き、賑わう街について

海外の旅行プログラマーや著名人などによる高崎の魅力発信。豊岡新駅(仮称)設置に向け協議開始。豊岡経大橋(仮称)新設に向け、現地調査、群馬県との協議。高崎駅東口における3つの再開発事業の進捗

合併した地域の個性を活かした魅力づくりについて

箕郷地域で養蚕住宅を観光客の休憩所として活用。新町防災体育館(仮称)令和2年の秋頃に着工。榛名湖アーティスティック・レジデンス6月以降オープン

安心・安全な地域社会づくりについて

錦川の氾濫防止対策として「無堤防地区の築堤」と「堤防の高上げ」を県に要望。避難所となる小・中学校の体育館トイレの洋式化と多目的トイレの導入。推進。高浜クリーンセンターの建て替えと、それに伴う隣接施設等の整備。「高齢者こみ出しSOS」の新設

賛成討論



渡邊 幹治

本議会で上程された32議案について、新風会を代表して渡邊幹治議員より賛成討論を行いました。その結果、「賛成全員」で全議案が可決されました。

一般質問

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、答弁の一部です。答弁の全文および録画配信が高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、そちらも是非ご覧くださいませ。

議員発言

執行部答弁



録画配信 全文掲載

http://takasaki.gijiroku.com/voices/g07_Shitsumon.asp



根岸 赴夫

本因坊戦について

本因坊戦高崎対局開催についてどのような経緯で本市開催に至ったのか。

本市在住の日本棋院群馬県支部連合会の関係者が主催者側に高崎市を候補地として紹介

その後、主催者側が本市の交通の利便性や対局会場となる旧井上房一郎邸の歴史的文化的価値、また毎年秋に囲碁大会を開催している実績などを総合的に判断した結果、7番勝負の中でも開催希望が集中し注目度の高い第一局を本市で開催するに至りました。

獣医師会の活動について

本市が行っている



後藤 彰

不妊去勢手術費補助制度と効果について問う。

手術を行う事で飼主のいない猫を減らすことができ、マーキングによる糞尿被害が減少し環境問題が改善される。

中学校の制服について

中学生女子の登下校時の寒さ対策についての考えを問う。

市内の中学校ではストッキングの着用を防寒対策として生徒手帳に記載している学校もあり、ズボンの着用を希望する申し出などには生徒や保護者と緊密な連携のもと柔軟に対応しております。



樋口 哲郎

中小製造業の支援について 概要と受付日は。

工場や事務所の空調設備のほか、屋根等に高機能な遮熱塗料を塗装することで従業員の働く環境を少しでも快適にし、500万円を上限に事業の2分の1を補助しようとするものです。多くの申請者が想定される為、来た方を長く待たせないよう、番号順に書類を一時的に預かり、後日内容を精査してご連絡を差し上げる方法を検討しています。

特別枠の概要について

飲食店衛生向上リニューアル特別助成事業は衛生向上を目指し、施設の構造や設備 備品等を改修する飲食店主を支援するため、改修工事で行った費用の一部を特別に助成する制度。主に施設の衛生環境を改善する工事として、厨房内の床や壁の補修、トイレ設備を和式から洋式に変える工事、排水溝の改修などの工事を対象としております。商店リニューアル助成を既に2回利用した飲食店であっても、特別枠に申請できます。

地域公共交通の現状について

【議】 よいバスの利用者数の傾向及び要因は。

【執】 利用者数の傾向ですが、少子化で子供の数が減少している事と高齢のバス停までの歩行待ち時間など、体力的に厳しくなっている方や、新たに運転免許証を自主返納した方の利用が増えない事などの要因により利用者数は若干減少しております。

【議】 本市全体では、65歳以上で運転免許証を自主返納された方へ様々な支援を行っており、吉井地域では、よいバスを半額で利用できる制度を設け、利用者増の促進を図っております。

【議】 「おとしよりぐるりんタクシー」の概要は。

【執】 高齢化率の高い倉渕、榛名、吉井の3地域において、設定したルート上なら、どこでも乗り降り自由、利用料無料、事前予約・登録不要で、令和2年6月1日から運行し、365日、原則無休で午前9時から午後5時までの間、設定したルートを2台のタクシーが30分間隔で巡回するもので、高齢者や障害者をはじめ、どなたでもご利用頂けます。



清水 明夫

新型コロナウイルス感染症対策について

【議】 本市の「帰国者・接触者相談センター」に寄せられている相談件数と相談内容について。

【執】 相談件数は、2月24日現在302件、今後も問い合わせ等が増える状況が予想される。

【議】 一日も早い感染収束に向けての取り組みをお願いしたい。また、現状国から打ち出されている経済対策は融資・貸付が主だった施策。昨今の自粛推奨ムードにより、倒産を余儀なくされるところも出てくるかもしれない。国の動向を見ながら、国の方針だけに依存しない本市独自のやり方で、市内の企業・店舗・家族を守って頂けるようお願いします。

【議】 フードバンク、フードドライブ、子ども食堂について

【議】 本市の子ども食堂についての現状は。

【執】 社会福祉法人やNPO法人などの団体が、ボランティアの協力を得ながら、子ども食堂を運営していると同っている。

【議】 地域住民の生きがい・やりがいが創出されていく事と、ひとりぼっちでご飯を食べることも減っていく事を願っている。引き続き、行政からの適切な支援、情報発信、啓発活動等に期待する。



青木 和也

CSF対策と支援について

【議】 新年度以降のCSF（豚熱ワクチン接種費用）に対する本市の助成は。

【執】 これまでも豚丹毒やPED（豚流行性下痢）など特定の疾病に対する予防対策として、ワクチン代の一部補助を行っている。これらの項目に新たにCSFワクチンを加え、農家の皆さんの負担軽減に努めていく。

【議】 子育て環境の整備について

【議】 群馬地域における放課後児童クラブの受け入れ児童数の推移と今後の施設整備は。

【執】 群馬地域には、現在6小学校区で11クラブがあり、利用児童数は年々増加傾向にある。増加する児童数に対応するため施設整備や空き家を利用して施設の増設に努めてきた。令和2年度は地域からの要望も踏まえ、堤ヶ岡小学校区に新たに1か所の施設整備を予定している。

【議】 生徒数の増加により想定される群馬南中の教室不足への対応は。

【執】 今後も生徒数の増加が見込まれることから、令和2年度にプレハブ校舎を設置するための予算を計上している。群馬南中に限らず、今後も適切な設備整備に務める。



大河原 吉明

本市の大規模災害への備えについて

【議】 災害時における炊き出し等の食料供給は。

【執】 発災直後は原則、各家庭や自主防災会、事業者が備蓄した食料を充てていただく。食料を得る手段の無い方へは、順次、本市の備蓄食料や炊き出しによる温かい食料を提供していく。被災者へ提供する食料は協定事業者から調達、困難な場合は県に要請して調達する。炊き出しについては、自衛隊や自主防災会、協定締結団体、ボランティア活動によるものを想定している。

【議】 避難所の空調、照明、発電、煮炊き等ができるLPガス装置等の今後の活用は。

【執】 LPガス装置等は、復旧が迅速であることから災害時に有効な設備であると認識している。過去の事例からも、被災時の電力確保が課題となっているため、本市としては、ライフライン事業者との更なる連携を進めると共に、電力確保につながる国の支援策や災害用LPガス装置を導入した他市の状況などを研究していく。

【議】 避難所の空調、照明、発電、煮炊き等ができるLPガス装置等の今後の活用は。

【議】 避妊所について

【議】 避妊所の空調、照明、発電、煮炊き等ができるLPガス装置等の今後の活用は。

【議】 避妊所の空調、照明、発電、煮炊き等ができるLPガス装置等の今後の活用は。

【議】 避妊所の空調、照明、発電、煮炊き等ができるLPガス装置等の今後の活用は。

【議】 避妊所の空調、照明、発電、煮炊き等ができるLPガス装置等の今後の活用は。

【議】 避妊所の空調、照明、発電、煮炊き等ができるLPガス装置等の今後の活用は。



白石 隆夫

HPVワクチンについて

【議】 子宮頸がんとは。

【執】 20代から40代前半の女性が年間約1万人罹患し、約3千人が亡くなっている。

【議】 HPVワクチンの効果と実績は。

【執】 子宮頸がんに対する予防効果は確認されている。平成23年任意接種となり、13,667件の接種があった。平成25年定期接種となったが健康被害の報告があり、積極的勧奨が控えられる。そのため令和元々は12月までで38件の実績であった。

【議】 少子化が叫ばれている今、若い女性の健康と命を守ることは極めて重要なことだ。HPVワクチンは効果が確認されており、世界各国で接種されている。子宮頸がんを予防でき、定期接種であるため費用はかからない。このことを対象年齢となる女性たちに確実に知らせていただきたい。

【議】 避妊勧告発令の対象区域は。これまでの防災行政無線は。

【執】 気象や河川の水位、土砂災害の危険度の情報を注視し適切に発令するよう努めている。令和4年12月には運用停止、防災スピーカー46カ所設置。

【議】 避難情報発令区域の細分化、「どこへ避難」が重要、安心ほっとメールの登録推進月間などの設け登録者増への取り組みを。

【議】 道路交通法改正による消防団車両の状況と準中型免許取得へ支援、団員の安全対策は。

【執】 5tから3.5t未満に引き下げられ団車両12台を更新、免許取得は研究していく。デジタル無線機、救命胴衣を配備。

【議】 準中型免許取得には勤務先との調整も含め支援を。

【議】 倉渕地域で開催になった経緯とその成果は。

【議】 倉渕の冬の賑わいの創出を検討する中で、夏に開催のくらぶの夏祭り、花火が大変好評で、空気の澄んだ冬場に出来れば大きな話題になる。夏の花火と差別化しインパクトのあるイベントにするべく全国どこでも実施していない40歳以下の若手花火師によるコンクールを開催することになったものである。成果は、約1万人の来場者を迎え交流人口の増加に大きな成果を出した。



長壁 真樹

本市の防災対策について

【議】 ハザードマップの活用と外国人への周知は。

【執】 平成30年9月に改訂、防災意識の醸成、避難行動へ繋げるためハザードマップを活用、HPで4ヶ国語版で提供し周知に努める。

【議】 自主防災組織結成率が80%に「いざ」の時に活動できる組織に、地域版のハザードマップの研究を。

【議】 避難勧告発令の対象区域は。これまでの防災行政無線は。

【執】 気象や河川の水位、土砂災害の危険度の情報を注視し適切に発令するよう努めている。令和4年12月には運用停止、防災スピーカー46カ所設置。

【議】 避難情報発令区域の細分化、「どこへ避難」が重要、安心ほっとメールの登録推進月間などの設け登録者増への取り組みを。

【議】 道路交通法改正による消防団車両の状況と準中型免許取得へ支援、団員の安全対策は。

【執】 5tから3.5t未満に引き下げられ団車両12台を更新、免許取得は研究していく。デジタル無線機、救命胴衣を配備。

【議】 準中型免許取得には勤務先との調整も含め支援を。

【議】 倉渕地域で開催になった経緯とその成果は。

【議】 倉渕の冬の賑わいの創出を検討する中で、夏に開催のくらぶの夏祭り、花火が大変好評で、空気の澄んだ冬場に出来れば大きな話題になる。夏の花火と差別化しインパクトのあるイベントにするべく全国どこでも実施していない40歳以下の若手花火師によるコンクールを開催することになったものである。成果は、約1万人の来場者を迎え交流人口の増加に大きな成果を出した。



丸山 芳典

高崎HANABIコンクールについて

【議】 倉渕地域で開催になった経緯とその成果は。

【執】 倉渕の冬の賑わいの創出を検討する中で、夏に開催のくらぶの夏祭り、花火が大変好評で、空気の澄んだ冬場に出来れば大きな話題になる。夏の花火と差別化しインパクトのあるイベントにするべく全国どこでも実施していない40歳以下の若手花火師によるコンクールを開催することになったものである。成果は、約1万人の来場者を迎え交流人口の増加に大きな成果を出した。

【議】 開催の課題と来年度の開催予定は。

【執】 初開催のため手探りで、千台を超える駐車場の確保とシャトルバスの運行など、考えられる対策は講じたが、結果として発生した交通渋滞が一番の課題である。今回の結果、十分に地域振興の起爆剤になり得るので、課題が少しでも解消されるよう研究を重ね、また冬の時期に開催したい。

【議】 倉渕を知ってもらいたい。訪れる方々が活躍することで、地域の活性化になる。課題解消に向けた検討と倉渕地域が潤う方策も検討いただきたい。

【議】 協議体から生まれた活動は。

【執】 地域ニーズの把握、社会資源把握、仲間づくりなど、自分のできる範囲で高齢者の買い物支援や見守り、除草作業などの生活支援、地域へのベンチの設置等も始まっている。

【議】 課題と今後の対応は。

【執】 協議体の活動を、区長、民生委員の皆様と理解を深めていただくための説明会や周知活動を行い、住民の意向と目指す地域像を大切にしながら、地域住民を中心に高齢者安心センター、社会福祉協議会、市の職員等との連携を強化し、更に協議体が継続していくための活動を推進してまいります。



片貝 喜一郎

地域支え合い活動について

【議】 生活支援体制整備事業の進捗状況は。

【執】 本市では、おたがいさまで支え合う地域の基盤をつくるための場として、協議体という仕組みを、高齢者安心センターが担当する地域を一つの単位として、市全体に26カ所所の第2層協議体として設置しスタートして、住民主体の地域の支え合い創出に向けた取り組みを推進している。

【議】 協議体から生まれた活動は。

【執】 地域ニーズの把握、社会資源把握、仲間づくりなど、自分のできる範囲で高齢者の買い物支援や見守り、除草作業などの生活支援、地域へのベンチの設置等も始まっている。

【議】 課題と今後の対応は。

【執】 協議体の活動を、区長、民生委員の皆様と理解を深めていただくための説明会や周知活動を行い、住民の意向と目指す地域像を大切にしながら、地域住民を中心に高齢者安心センター、社会福祉協議会、市の職員等との連携を強化し、更に協議体が継続していくための活動を推進してまいります。

【議】 協議体から生まれた活動は。

【執】 地域ニーズの把握、社会資源把握、仲間づくりなど、自分のできる範囲で高齢者の買い物支援や見守り、除草作業などの生活支援、地域へのベンチの設置等も始まっている。

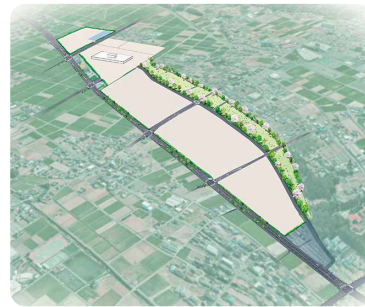
【議】 協議体から生まれた活動は。

産業団地の造成と高工団



関越自動車道・高崎玉村スマートインターチェンジ(IC)と一体的に開発してきた製造業中心の「高崎スマートIC産業団地」に続き、その西方約2kmの立地に、現在「高崎354複合産業団地」を造成中である。昨年の高崎354複合産業団地へのエントリー募集に対し、43社が応募し、高崎市の税収増・地域貢献・雇用促進が期待できる優良企業として11社が選ばれた。早期の企業進出に向け、現在造成工事を進めている。

この高崎354複合産業団地は、高崎スマートIC産業団地と合わせて、人・モノ・産業・情報が行き交う一大拠点になる事が予想される。本事業は、高崎工業団地造成組合(通称:高工団)が手掛けている。



高崎354複合産業団地イメージ図



緑地帯イメージ図

高崎工業団地造成組合とは

■組織概要

工業団地及びそれに付随する住宅団地用地の開発を、計画的に遂行する事を目的として、昭和39年に群馬県と高崎市で設立した一部事務組合。

独立採算制を基本とし、農地を工業団地に転用して分譲する事で、税収増加に大きく貢献している。

当組合は、事務局を高崎市役所10階に置き、市長をトップとした執行部と、市議会議員5名と県議会議員5名で構成される組合議会が設置され、年2回の定例会と必要に応じ臨時議会を開催している。組合議会の議長には新風会会長の田中治男、副議長には新風会顧問の柴田和正が選任されている。

■工業団地の開発について

工業団体の分譲実績は、昭和42年度に分譲した倉賀野大道南工業団地をはじめとして、これまでに16団地が完了し、約156ヘクタールを造成、169社に分譲した。

■住宅団地の開発について

住宅団地につきましては、昭和40年に分譲した金井渕住宅団地をはじめとして、これまでに15団地に着手し総面積約202ヘクタールを造成、約194ヘクタールが分譲済となっている。

現在分譲中の山名イースタウンについては、開発面積11.6ヘクタールで、これまでに211区画の分譲を行いまして、分譲率は、戸数ベースで75%となっている。

新型コロナを乗り切ろう



最新情報は高崎市HPへ



物を触ったら
家の中でも
こまめな手洗い



正しいマスクの
着用を



運動・食事・睡眠
で免疫力向上を



家庭や職場では
こまめな換気を



密閉空間・密集場所
密接場面を避けよう



人を傷つける噂や
正しい判断を鈍ら
せる噂は流さない

新風会所属議員一覧

～市政に関するご相談はお近くの議員まで～

会長
田中 治男
たなか はるお
高崎市八幡原町2054
☎027-346-3287

副会長
後閑 太一
ごかん たいち
高崎市十文字町150-1
☎027-374-0416

副会長
渡邊 幹治
わたなべ かんじ
高崎市倉賀野町1684
☎027-346-6133

幹事長
石川 徹
いしかわ とおる
高崎市箕郷町東明屋106-1
☎027-371-3344

副幹事長
長壁 真樹
おさかべ しんじ
高崎市中室田町甲525
☎027-374-3384

政調会長
柄沢 高男
からさわ たかお
高崎村上里見町197
☎027-374-4304

副政調会長
後閑 賢二
ごかん けんじ
高崎市塚田町222-2
☎027-373-2214

会計
後藤 彰
ごとう あきら
高崎市乗附町1563-27
☎027-328-5100

広報
清水 明夫
しみず あきお
高崎市根小屋町499-1-105
☎090-6655-1767

監査
白石 隆夫
しらいし たかお
高崎市石原町4049
☎027-325-5983

顧問
柴田 和正
しばた かずまさ
高崎市金井淵町259
☎027-343-7161

顧問
柴田 正夫
しばた まさお
高崎市下中居町47
☎027-322-8347

顧問
丸山 和久
まるやま かずひさ
高崎市江木町1111-1
☎027-323-8855

飯塚 邦広
いづか くにひろ
高崎市吉井町岩崎687-3
☎090-5427-2201

根岸 赴夫
ねぎし ゆきお
高崎市中中居町407-5
☎027-326-0635

大竹 隆一
おおたけ りゅういち
高崎市吉井町片山895-2
☎027-387-4390

高崎市議会議長
松本 賢一
まつもと けんいち
高崎市新町1652-5
☎090-6033-8421

高崎市議会副議長
時田 裕之
ときた ひろゆき
高崎市浜川町1799
☎090-4948-4450

片貝 喜一郎
かたかい きいちろう
高崎市和田町6-3
☎090-1808-7448

丸山 芳典
まるやま よしのり
高崎市倉渕町権田138-1
☎090-2725-0817

樋口 哲郎
ひぐち てつろう
高崎市吉井町馬庭827-1
☎090-3245-0195

大河原 吉明
おおかわら よしあき
高崎市京目町1634-6
☎090-9385-8680

青木 和也
あおき かずや
高崎市福島町740-7
☎090-5442-8248

高崎市議会 新風会
〒370-8501
群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
<http://www.shinpukai.com/>

